

RSウイルスワクチン『アブリスボ』の妊婦様への接種のお知らせ

RSウイルス感染症について

- RSウイルスによって引き起こされる急性の呼吸器感染症です。
- 2歳までにほぼ100%の子どもがRSウイルスに感染し、初回感染時や生後6ヶ月以内の感染では、細気管支炎や肺炎を起こして重症化することがあります。



RSウイルスワクチン『アブリスボ』とは

妊娠中のお母さんに接種するRSウイルスワクチンです。赤ちゃんは胎盤やへその緒を通じて抗体の一部を受け取って生まれてくるため、赤ちゃんのRSウイルス感染症に対する予防効果が期待されます。

※接種から14日以内に出生した赤ちゃんは、抗体の移行が十分でない可能性があります。

接種対象

妊娠28週0日～36週6日の妊婦さん

接種方法

0.5mLのワクチンを筋肉内に接種します

料金

33,000円（税込み）

お申し込み

予約制ですので、産婦人科外来またはお電話でお申し込み下さい。

参考資料

『RSウイルス母子免疫ワクチンが接種可能となりました（日本産科婦人科学会）』



『RSウイルス母子免疫ワクチンに関する考え方（日本小児科学会）』



『RSウイルス感染症のこと知っていますか？（ファイザー社）』



『アブリスボの接種を検討されている方へ（ファイザー社）』



お問い合わせ先

社会医療法人愛仁会 高槻病院 産婦人科外来

TEL 072-681-3801（代表）